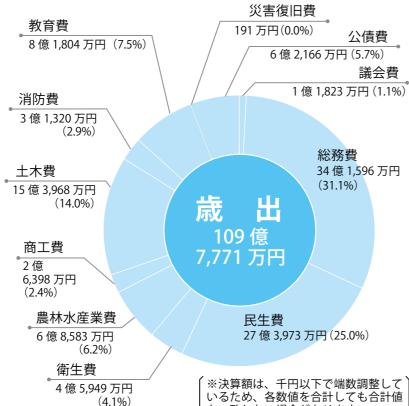


平成30年度一般会計の主な事業

平成 30 年度一般会計の主な事業	
▼ 総務費	
放射性物質除染対策事業	12 億 5,639 万円
東日本大震災農業生産対策事業	5 億 8,289 万円
▼ 民生費	
待機児童解消対策事業	6 億 520 万円
児童手当費	3 億 6,861 万円
自立支援給付事業	2億6,397万円
▼ 衛生費	
白河地方広域市町村圏整備組合 負担金(し尿・塵芥処理費)	1億5,404万円
住民検診諸費	2,434 万円
妊婦健康診査等費	1,917 万円
▼ 農林水産費	
農業集落排水事業特別会計 繰出金	1億4,767万円
ふくしま森林再生事業	1億1,989万円
▼ 商工費	
中小企業経営合理化資金融資原資 貸付金	9,000 万円
▼ 土木費	
白河布引山演習場周辺道路改修 事業	5 億 6,999 万円
公共下水道事業特別会計繰出金	3 億 2,535 万円
▼ 消防費	
白河地方広域市町村圏整備組合 負担金(消防費分担金)	2 億 4,574 万円
▼ 教育費	
特定防衛施設周辺整備調整交付金 事業	6,780 万円
幼稚園就園奨励費	3,397 万円
▼ 公債費	
元利償還金	6 億 2,166 万円

染対策事業の縮小が主な要歳入と同様に放射性物質除馬減少しています。これは要で、前年度より25億/3/万費で、前年度より25億/3/万 ではりました。 較すると21億32万円の対 の億77万円で、前年度と 歳 出 決 算 の 総 額 決算も前年度に比ぐ 歳入決算に比例-は別表の 因となって となりまし なりました 貧で、前年度より25億gg 減額の最大の要因は經 それ 以外 います。 た の主な実施事業 前年度と比の 総額 は ベ 、減額と 減額

出



企業会計の決算状況 特別会計、

■ 特別会計

区分	歳入	歳 出
墓地特別会計	361 万円	361 万円
国民健康保険特別会計	18 億 1,188 万円	17億9,427万円
公共下水道事業特別会計	7億5,335万円	7億3,497万円
農業集落排水事業特別会計	1億8,001万円	1億7,215万円
介護保険事業特別会計	12 億 8,833 万円	12億5,166万円
後期高齢者医療特別会計	1億4,887万円	1億4,723万円

▶特別会計とは

地方公共団体が特定の事業を行う場合に、特定の歳入歳出を 一般の歳入歳出とは区別して収支経理を行う会計で、法律又 は条令で定められている会計です。

▶ 公営企業会計とは

当該事業を行うことによって得られる収入で、当該事業の経 費をまかなっていく、独立採算を原則とする会計です。

■水道事業会計

分	決 算 額
収入	3 億 5,889 万円
支出	2億9,804万円
収入	1億3,466万円
支出	2億6,429万円
	収入 支出 収入

と一致しない場合があります。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する1億 2,963万円は、損益勘定留保資金などで補てんした。

■ 工業用水道事業会計

区	分	決 算 額
収益的	収入	2億8,881万円
拟盆凹	支出	2億4,195万円
資本的	収入	0円
貝平凹	支出	1億2,042万円

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する1億 2,042 万円は、損益勘定留保資金などで補てんした。

西郷村の家計簿 -平成 30 年度決算報告

村では毎年2回、5月と11月に村の財政状況をお知らせしています。 財政状況から、皆さんが納めた貴重な税金や国・県からの補助金がどのような目的に活用されたのか がわかります。今回は平成30年度の決算状況をお知らせいたします。

間財政課 25-2910

成

- ▶ 自主財源
- 村税など村が自主的に収入できるお金です。
- ▶ 依存財源

国や県が額や用途を決めて割り振られるお金です。

▶ 地方交付税

村の財政状況に応じて国から交付されるお金です。

▶ 国県支出金

特定の目的のために国県から交付されるお金です。

▶ 地方債

特定の事業を行うために金融機関等から借入れるお金です。

す 24 支 除染対策事業の縮小が要因 となっています 億 出 減額の最 6,295円減少-出金で、前年 これは主に放射性物質 大の要因は 年 度 7 ょ い ま 県 IJ

れ

が要因となっています

25 5,818 た。 億32万円の減額となり 万 入円で、 の 前年 度は よ 113 ŧ IJ 億

た。2,746 方 円 た、 地方交付税が2億

円の れは主に法人住民税の増収円の増収となりました。こ一方、地方税が1億㎏万 い ま

す の減少が要因となって 別交付税の対象となる事業 これは主に震災復興特が円の減収となりまし

地方譲与税:1億1,359万円 利子割交付金:321万円 ゴルフ場利用税交付金: 2,908 万円 地方消費税交付金:4億500万円 配当割交付金:575万円 株式等譲渡所得割交付金:451万円 自動車取得税交付金: 2,534 万円 地方特例交付金: 1,901 万円 交通安全対策特別交付金: 208 万円 国有提供施設等所在市町村助成交付金:743万円

【その他の依存財源内訳】

その他 地方債 6 億 1,500 万円 (5.4%) 5 億 4,729 万円 (4.8%)県支出金 村税 25 億 72 万円 39億243万円 (22.1%)(34.4%)5,818 万円 国庫支出金 13 億 6,444 万円 (12.0%)地方交付税 その他 13 億 393 万円 (11.4%) 11 億 2,437 万円 (9.9%)

村民税:18億6,540万円 固定資産税: 18 億 484 万円 軽自動車税:5,517万円 村たばこ税:1億5,181万円 入湯税: 2,521 万円

【その他の自主財源内訳】

分担金・負担金: 9,677 万円 使用料及び手数料:7,821万円

財産収入:4,028 万円 寄附金: 6,294 万円 繰入金: 8,623 万円 繰越金:7億3,927万円 諸収入:2億23万円

自主財源:52 億 636 万円(45.8%) 依存財源:61 億 5,182 万円(54.2%)

する条例 西郷村印鑑の登録及び証明 に関する条例の一部を改正 の一部を改正する政令民基本台帳法施行令等平成31年4月17日に住 (原案可決)

議案第35号

村長提出議案等

及び内容については、 次の

法律及び公職選挙法の行経費の基準に関する

国会議員の選挙等の執

村長提出議案のうち 議案名と議決結果 8議案が撤回、 報告3件が受

が認定、 計及び特別会計の補正予算 理されました。 議案が同意、 26議案が原案可決、 の認定、令和元年度一般会 2 議案

条例

(原案可決)

する条例の一部を改正する のの報酬及び費用弁償に関 特別職の職員で非常勤のも

議案第37号

西郷村森林環境譲与税基金 (原案可決)

条 例 に るため、 境 森 児譲与税基金を設置すに伴い、西郷村森林環境譲与税の創設 この条例 を 制 す 環 設

しようとするもの

実施する幼児教育 令和元年10月1日

保

育

要の改正

を

ょ

う

から

(原案可決)

議案第40号

例の規定の見直. の る必要があるため、 条例を制定しようと の規定の見直しを図の施行により、当該条

正をしよう 施行に伴!

するもの:

をしようとするも

和元年法律第1

号

改の

部を改正する法律

令

るものである。

用者負担額等に関する条例西郷村教育・保育に係る利

令和元年第3回定例会は

正をしようとするもの。るのに伴い、所要の改が公布され、令和元年 るのに伴い、所要の改11月5日から施行されか公布され、令和元年

関

する法律の一

部

改

正

7月1日間の会期で行われまり月11日から9月27日まで

しようとするもの。に伴い、所要の改

所要の改正を

した

平成30年度歳入歳出決算

議案第39号

議案第36号

運営の基準に関する条例及び特定地域型保育事業の 西郷村特定教育・ (原案可決) 保育施設

の運営に関する基準のび特定地域型保育事業特定教育・保育施設及 部を改正する内閣 府

議案第42号

条例 西郷村立幼稚園保育料に関 (原案可決)

する条例の一部を改正する 施行令の一 子ども・子育て支援法及 償化されることに伴 び子ども・子育て支援法 幼児教育・保育が無 部改正に ょ

を額定めに 保の を定めるため、この条御等に関し必要な事項保育に係る利用者負担 無償化に伴 教育

に関する条例の一部を改正西郷村災害弔慰金の支給等

議案第38号

する条例

(原案可決)

災害弔慰金の支給等に

も例 議案第41号 のを 制 定

西郷村保育園に係る保育料 等の徴収に関する条例を廃

止する条例(原案可決) 郷村教育・保育に係る育の無償化に伴い、西実施する幼児教育・保令和元年10月1日から 利用者負担額等に関す この条例を廃止 る条例を制定するため、 とするもの。 \cup ょ う

正

をしようとする

も

の

加算するため、

所要の改

西郷村道路占用料徴収条例 (原案可決) の一部を改正する条例 議案第44号

議案第45号

率改正に伴

所要の改

正をしようとするも

の

消費税及び地方消費税

西郷村下水道条例の

一部を

改正する条例 係法律の整備に関すの制限に係る措置の成年被後見人等の均 被後見人等に係る欠法律が公布され、よ (原案可決) すのの 権 成 格年 る関適 利

するも

議案第43号

(原案可決) 料に消費税等相当額を引き上げに伴い、使用費税及び地方消費税の令和元年10月からの消

ようとす

る

の一部を改正する条例 西郷村行政財産使用料条例 σ

■ 資本不足比率

基金および地方債の状況

■ 埜立	
基金名	30 年度末残高
財政調整基金	24 億 958 万円
減債基金	5,820 万円
地域福祉基金	7,465 万円
人材育成基金	3 億 6,790 万円
中山間ふるさと水と土保全基金	3,792 万円
公共施設整備基金	13 億 9,311 万円
介護支払準備基金	3 億 42 万円
西郷村奨学金返還支援基金	401 万円

基金名	30年度末残高
地域振興基金	3,570 万円
教育施設整備基金	6,173 万円
スポーツ振興基金	2,150 万円
畜産振興基金	513 万円
土地開発基金	1億603万円
国民健康保険給付支払準備基金	2億876万円
環境基金	637 万円
子育て基金	2億1,531万円

■ 地方信

- 10/7 庆	
区分	未償還額
一般会計	68 億 7,162 万円
公共下水道事業特別会計	33 億 4,202 万円
農業集落排水事業特別会計	10 億 6,354 万円

	<u>X</u>	分	未償還額
7	水道事業会計		5 億 7,218 万円
_	工業用水道事業会計		9億5,022万円

▶基金とは

特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するために設けられた資金 または財産です。

▶地方債とは

地方公共団体が建設事業等の財源とするため金融機関等から借り入れた長期借入金です。

財政健全化判断比率・資金不足比率

自治体の財政破たんを未然に防ぐとともに、悪化した団 体に対して早期に健全化を促すことを目的とした「地方公 共団体の財政の健全化に関する法律」(平成19年6月公布) により、平成19年度決算以降、健全化判断比率として4 つの指標及び公営企業の経営状況を示す指標の算定・公表 が、義務付けられました。

■ 健全化判断比率

指標名	決算比率	早期健全化基準 (国の基準)	財政再生基準 (国の基準)
実質赤字比率	_	14.74%	20.00%
連結実質赤字比率	_	19.74%	30.00%
実質公債費比率(3ケ年)	6.9%	25.0%	35.0%
将来負担比率	_	350.0%	_

会 計 名	決算比率	経営健全化基準 (国の基準)		
水道事業				
工業用水道事業	_	20.0%		
公共下水道事業	_	20.0%		
農業集落排水事業	_			

健全化判断比率の4つの指標とは?

■ 実質赤字比率

一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模 に占める割合。村の一般会計等の赤字の程度を指 標化し、財政運営の深刻度を示す。

■ 連結実質赤字比率

全会計 (一般会計、公営事業会計、公営企業会計) を対象とした連結実質赤字額(赤字額から黒字額 を引いた額)の標準財政規模に占める割合。村全 体としての運営の深刻度を示す。

■実質公債費比率

一般会計等が負担する元利償還金と準元利償還金 の標準財政規模に対する比率。借金の返済額及び これに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの 危険度を示す。

■将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準 財政規模に対する比率。村の一般会計の借入金(地 方債)や、将来支払っていく可能性のある負担等 の現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を 圧迫する可能性が高いかどうかを示す。

公営企業の経営状況を示す指標とは?

■ 資金不足比率

公営企業(法適、法非適)ごとの資金の不足額の 事業規模に対する比率。経営状況の深刻度を示す。

い使用料に消費税相当 に消費税及び地方消費 に消費税及び地方消費 限に係る措置の適正化 るもの。 要の を 改正を 加算するため、 しようとす 所

西郷村給水条例の一部を改 議案第46号

正する条例 料金等に消費税等相当の税率の引上げに伴い消費税及び地方消費税 要 の るもの。 業者の指定の更新手数 水道法の一部改正に伴 い指定給水装置工事事 を 改正を 加算するため、 (原案可決) しようとす 所

議案第47号

西郷村工業用水道事業条例 (原案可決) 一部を改正する条例

O

の税率の引上げに伴い消費税及び地方消費税

を加算するため、所要料金に消費税等相当額 も の改正をしようとする

議案第48号

西郷村中央農民研修セン の一部を改正する条例(撤回) の設置及び管理に関する条例 西郷村コミュニティセンタ・ 議案第49号

▽ 議案第50号

(撤回)

る条例の一部を改正する条

ーの設置及び管理に関す

▽ 議案第51号 改正する条例 管理に関する条例の一部を 西郷村集会施設の設置及び (撤回)

西郷村甲子高原こども運動

西郷村民体育館設置及び管 ▽ 議案第52号 する条例 広場設置条例の一部を改正 (撤回)

議案第53号

正する条例

(撤回)

理に関する条例の一部を改

を改正する条例 エーション施設条例の 西郷村社会体育、 撤回) ク — 部

一部を改正する条例(撤回) 費税及び地方消費税率 加算するため、 料に消費税等相当額を の引き上げに伴い、 令和元年10月からの消 をしようとするもの 所要の改

議案第56号

平成30年度西郷村歳入歳出▽議案第56号 \bigvee 議案第57号

平成30年度西郷村公営企業 の認定について 会計剰余金の処分及び決算 見を付けて議会に認定 2項及び同法第30条第 法第24条第5項の規定)法第33条第3項及び同 に基づき監査委員 4 方公営企業法第32条第 並びに議案第57号 議案第56号(地方自治 項の規定) (認定)

西郷村民屋内プー 一部を改正する条例(撤回) 議案第55号 ル条例の

開放に関する使用料条例の 使 用

決算の認定について(認定)

各法 の 意 地

補正予算(第2号) (原案可決) 議案第59号

会計補正予算 (第1号) 令和元年度西郷村墓地特別

号) (原案可決)

道事業会計補正予算

令和元年度西郷村工業用水

令和元年度西郷村国民健康

保険特別会計補正予算 (原案可決)

道事業特別会計補正予算 (第1号) (原案可決)

排水事業特別会計補正予算 (第1号) (原案可決)

事業特別会計補正予算 (原案可決)

規定により、

監査委員

の意見を付けて報告し

健全化に関する法律の地方公共団体の財政の

(原案可決)

▽議案第65号

 \bigvee

西郷村公立学校体育施設の

\bigvee

号

令和元年度西郷村公共下水

化判断比率の報告について 平成30年度西郷村財政健全

令和元年度西郷村農業集落

ついて

(報告受理)

報告第3号・

第4号は、

会計資金不足比率の報告に 平成30年度西郷村公営企業

2 号 令和元年度西郷村後期高齢

受理された。

▽議案第62号

▽議案第63号

議案第64号

 \bigvee

令和元年度西郷村水道事業

▽ 議案第58号

令和元年度西郷村一般会計

案可決)

▽議案第66号

(第

表のとおり。

については、

ペ

ジ

の令和元年度補正予算 議案第58号から第66号

者医療特別会計補正予算

(第1号)

▽議案第60号 (原案可決)

▽ 議案第61号

報告第3号

▽報告第4号 (報告受理)

令和元年度西郷村介護保険 第

(報告受理) 社経営状況報告について 般財団法人西郷村農業公 報告第5号

人権擁護委員の委嘱

人権擁護委員の和知七郎さんが9月30日をもって任期満 了となることに伴い、新たに人権擁護委員として金澤登志 子さんが委嘱されました。委嘱期間は、令和元年10月1 日から3年間です。

▽議案第69号

めるもの。 更について、

工事請負契約の一部変 工事内容の変更に伴 議案第67号・第68号は、 契約について

(原案可決)

た

ため、

議会の同意

調査検討するため、 要な議会改革につい 会の活性化を目指し、 能動的かつ能率的な議

必 $\overline{\zeta}$

予算総額

11,612,000

1,672,092

668,613

179,648

1,348,845

152,696

9,590

区

水道事業会計

工業用水道

事業会計

別委員会が設置された。

補正額

403,000

1,578

5,314

16,161

3,368

34,750

1,740

再度委員として任命 満了となることに伴 9月30日をもって任期

を求め、

同意を得た。

橋床版・橋面工事請負変更 債務負担行為(仮称)雪割 改修等事業平成30・31年度 白河布引山演習場周辺道路 ▽議案第68号

更契約について(原案可決) 線道路改良舗装工事請負変 債務負担行為川谷由井ヶ原

命について

(同意)

村田清氏が、

令和元年

員会の設置の件(原案可決) 西郷村議会改革検討特別委

西郷村教育委員会委員

 ∇

発議第7号

西郷村教育委員会委員の任

財務大臣

内閣総理大臣

議案第71号

債務負担行為川谷由井ヶ原改修等事業令和元・2年度 約について 線道路改良舗装工事請負契 議案第70号 (原案可決)

白河布引山演習場周辺道路



▲ 村田清氏の委嘱状交付式が 10月 11日に 行われた (議案第71号関係)

請願書

(採択)

会

会

別

消費税率10%への引上げの

▽請願第4号

請願・

一般会計·特別会計補正予算

既決額

11,209,000

1,666,778

652,452

176,280

150,956

1,314,095

8,012

▽ 陳情第2号

策定に関する陳情書(採択) 西郷村「再犯防止推進計画

中止を求める意見書提出の 令和元年度 一般会計・特別会計・公営企業会計補正予算【9月】

特

農業集落排水事業特別会計

介護保険事業特別会計

後期高齢者医療特別会計

般 墓 地 国民健康保険特別会計

会

和知さん(左から2番目)と金澤さん(左から3番目)

(第2回定例会 諮問第1号で適任とされた事項)

公営企業会計について

留保資金などで補てんする。

改修等事業平成30·31年度白河布引山演習場周辺道路

Ĺ

議決を求めるもの

事請負契約の締結につ 議会の議決に付すべき工

(1

中止を求める意見書の提出 消費税率10%への引上げの

補正額

1,901

10,095

について(原案可決)

公営企業会計補正予算

収支にかかる不足額は、当年度分損益勘定

既決額

340,094

287,199

(提出先)

▽議案第67号

受理された。

ついて

(原案可決)

 ∇

発議第6号

(単位:千円)

予算総額

341,995

297,294

議員提出議案等

調整池復旧工事請負契約に 度債務負担行為北部仮置場 除染対策事業令和元・2年

の規定に基づき報告上治法第24条の3第2項報告第5号は、地方自

第2項

(第

(原

会計補正予算 (第1号)

事や学校教育専門指導員等

の指導だけでなく、研修の

力向上を図るため、

、指導主

外部講師の招聘)」として、 修の充実(一人一授業への

村内小中学校教職員の指導

教育の充実の「ア

点施策については、

① 学 校 校内研

学校教育課主管事業の重

も指導助言をいただいた。 り専門的な立場の方から 講師招聘の範囲を広げ、

る。そのため肥満傾向を示

と比較すると重い傾向にあ り差はあるものの全国平均 生徒の平均体重は学年によ 施」について、当村の児童・ 童・生徒への健康指導の実

「心力」育成事業の推進

学校・家庭・地域

学校の養護教諭を中心に関

す児童・生徒に対して、

係機関との情報共有や、

一体となった人権教育の

平成30年度

西郷村教育行政の点検及び評価

教育委員会の行政の執行状況については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、 点検及び評価を実施することが義務づけられています。西郷村教育委員会は、平成30年度の 主な施策や事務事業の取組状況について点検及び評価を行いましたので公表します。

民に信頼される教育行政を

これを議会に提出し、

さら

В

:目標をおおむね達成できた

C:目標達成に改善を要する

施策の見直しを要する

また、報告書を作成し、

に公表することにより、

り一層の向上を図る。

明らかにし、

教育行政のよ

今後の取り組みの方向性を

を行うことにより、

課題や

教育行政の点検及び評価

③「②」の内容を取りまと めたものを教育に関する学 評価」を行う。 涯学習関係者による「外部 部評価」と、学校教育、 育委員会の職員による「内 ② 点検及び評価は、 策」について行う。 画」に掲げられた「重点施 育委員会 教育行政基本計 毎年度策定する「西郷村教 回実施することとし、 点検及び評価の対象は、

基本理念・基本目標西郷村教育委員会の

め、基本目標を「自うと気理念を「自立と共生」と定 ため事業を実施した づくり」として目標実現の 西郷村では、教育の基本 共によりよく生きる人

や事務事業の点検及び評価

校内研修の充実(一人

毎年 教

学校教育課に属する重点施策

【重点施策・学校教育課】

学校教育の充実

識経験者に示し「第三者評

報告書を西郷村議会に提出 第三者評価を取りまとめた 内部評価、 外部評価、

点検及び評価の基準 するとともに公表する。

学校事故と不祥事の

いじめ、 学校づくり 不登校のな

心を豊かにする体験活

への到達)

学びのための10項目・ 共通実践事項 外国語教育の充実(A 礎基本」)の確実な実践 幼保小中連携「学習の基 (真剣な

家庭との連携による学 習・生活・読書習慣の

1 必四学習の推進

 \bigcirc 学校・家庭・地域が

1 の教科 道徳」

動の充実 向上事業の推進

 $\overline{\mathcal{P}}$ 学力調査・学習状況調 力の向上(全国レベル査を生かした確かな学

一授業への外部講師の

体となった人権教育の 育成事業の推進

項目ごとに4段階で評価する。

A:目標を達成できた

道徳教育の推進

 $\qquad \qquad \boxed{\mathtt{I}}$

 (\mathbf{I})

(7)

LTの効果的な活用)

 \bigcirc

 $(\dot{\mathcal{D}})$

 $\qquad \qquad \boxed{\mathtt{I}}$

の授業の (「特別 \bigcirc 材の充実

④「健康・体力」向上事業

の到達) 肥満傾向を示す児童 体力向上推進計画 生徒への健康指導の 県レ ル の 実 実

幼稚園教育の充実 放射線教育、 の取組の工夫と充実 防災教

④ 学びや指導の充実と教 資質・能力の育成に けた教育内容の充実

キュラム・マネジメ幼稚園におけるカ トの確立 IJ

特別支援教育の推進の充実 家庭・地域との緊密 連携による幼稚園教 育 な

個に応じた支援と合理

 \bigcirc

流の推進 協議会の充実と学校交西郷地区特別支援連携 的配慮の提供の充実

特別支援教育に関する 研修の充実

の教育行政を推進したい さらに改善や 次年度以降 この結果 指導に取り組むとともに、 に実施している学校保健委 いてその成果と課題を共有 教育委員会の合同会議にお 年2回開催する養護教諭と の児童・生徒に対する健康

力向上を図った。

4

体力」向上事業の推進 肥満傾向を示す児

村内小中学校教職員の指導 進委員会を年2回開催し、 では外国語教育研修会や推 の向上を図った。また、 は外国語の表現や理解能力 会の確保に努め、中学校で きた外国語に慣れ親しむ機

題に取り上げ、

学校医から

員会で健康指導について話

また、中学校区ごと

全員を対象に、研修会では、中 の (1) 平成30年7月の村教職員 道徳教育の推進(「特別 道徳」の授業の充実) 中学校教職員

方策を検討し、 を踏まえて、 事業はなかった。 達成に改善を要する」事業、 た」事業が15件で、「目標 「目標をおおむね達成でき 達成できた」事業が11 環境を整えることができ 器具の取替を実施し、学習 化、コンピューター室照明 「施策の見直しを要する」 評価の結果は、「目標を ・中学校のトイレの洋式

> 生徒への健康指導の実施 ② 肥満傾向を示す児童

各校において、

肥満傾向

(7)

川谷中学校コンピュ

ター室照明器具取替工

1

新築工事(新)川谷中学校屋外トノ

名配置した。 小学校に2名、

小学校では生 中学校に1

もとに、

各校での校内研修

も活発に行われた。

を行った。これらの研修を

に理解するための示範授業 ての取扱い」の違いを明確 と「道徳の読み物資料とし

動の経験を通して、

何事に

7

米小学校トイレ改修工 教育環境の整備と充実

年度から継続してALTを 育の充実ということで、 食育の推進

業の推進として、

外国語教 向上事

ついては、年次計画により、 ⑧教育環境の整備と充実に 7

「にしごうマクロビ給

心な学校給食の提供

解を深めていただくことが 対して道徳教育に対する理

みを行った。

満傾向解消のための取り組 努め、保護者とも連携し肥 践などの肥満対策の実施に

波大学附属小学校から講師

「国語科の読みの授業」

自然と触れあったり、

季節

できるようになった。

年齢に応じた生活の仕方が 境を設定することにより、 達と色々な体験ができる環

の行事に参加したりする活

同一教材を用い

行った。また、12月には筑の在り方について研修を

毎日の園生活の中で、

③ 「学力」

家庭と連携した

食」の実践と、

安全安

学校給食の充実

参観の際に道徳の授業を行

保護者や地域の方々に

の成果が表れている。

できた。 ④「にしごうマクロビ給 姿が見られ、 み、学び、 おいても意欲的に参加する 成長することが 園生活を楽し

学校給食の提供 食」の実践と、 安全安心な

材を提供・ 使用し、 食」は主食に週4回米飯(西 地消に努めた。 和食中心で、 郷産コシヒカリ胚芽米) は、地場産品を使用し地産 「にしごうマクロビ給 噛み応えのある食 じた。 主菜や副菜に メニュー を は

の放射能物質検査を実施しと給食1食分の提供日数分 点から、肉や野菜等の食材 については希望する保護者 学校給食の安全確保の観 アレルギ 対応

児童・生徒の割合が少しず

をいただいた。肥満傾向の

も肥満対策についての指導

別化を図っている。

標をおおむね達成できた」 成できた」事業が8件、「目

事業が3件となった。

中心に啓発活動に努めた。

評価の結果、

「目標を達

辰戦争に関連する文化財を 化財資料集の刊行など、戊 や関連する講座の実施、

平成29年度に引き続き、

⑤⑥⑦ 米小学校トイレ改 応食の提供ができた。 を図りながらアレルギー

修工事、 コンピューター室照明器具 ・レ新築工事、 梨工事、川谷中学校屋外卜

取替工事 (新)

修工事、 して、米小学校のトイレ改整交付金の補助事業を活用 康面を配慮し全て洋式トイ 児童・生徒のストレスや健 では和式トイレに不慣れな レとした。 特定防衛施設周辺整備調 なお、 レ新設工事を実施し 川谷中学校の屋外 トイレ改修工事

※⑤~⑦の工事内訳は次の

「真剣な学びの10項目

の確実な実践

⑤ 米小学校 男子トイレ4箇所 8 箇所

6

川谷小学校 1箇所

女子トイレ4箇所

により、 ピューター ⑦川谷中学校 上を図った。 ED照明に取り替えること また、 学習作業効率の向 ЛЦ 屋外トイレ1箇所 谷中学校のコン 室照明器具をし 10 基

> きた施策 (B評価) 標をおおむね達成で

授業への外部講師の 校内研修の充実(一人

深い学びの実現に向けて、 いて、 修を更に充実させていきた 教員の授業力向上を図る研 できた。主体的、 指導助言をいただくことが り専門的な立場の方からも 講師招聘の範囲を広げ、 筑波大学附属小学校や福島 できた。また、年に数回は、 の指導力向上を図ることが 委嘱の学校教育推進員を派 専門指導員、 大学、福島県教育委員会等、 た一人一授業の計画に基づ 村内全小中学校で立案し 指導主事や学校教育 村内小中学校教職員 村教育委員会 対話的で

各学校で、授業参観の際体となった人権教育の推進 者や地域の方々に対して道 に道徳の授業を行い ② 学校・家庭・地域が一

徳教育に対する理解を深め 保護 また、

に、 学びのための10項目・幼保 日常的に行っていきたい 後も児童・生徒の人権意識 徒が主体となった人権教育 小中連携「学習の基礎基 ③ 共通実践事項(真剣な を高めるための取り組みを な意見交換が行われた。今 り組みを発表しあうととも 開催し、各校の特色ある取 代表児童・生徒が一堂に会 10月には村内全小中学校の の取り組みを進めてきた。 また、各学校では児童・生 ていただくことができた。 して「子ども人権会議」を 人権教育について活発

クションのマンネリ化、 を活用しながら学び方や学 た。週ごとのチェック&ア に付けさせることができ び合いの仕方を系統的に身 の向上を図ることができ 立し、教職員個々の授業力 でのPDCAサイクルを確 をもとに、ショートスパン や「我が校のこれだけは」 学習の基礎基本

> て活用できるようにした 更に実効性の高いものとし 骸化を防ぐ工夫をしながら

④ 学びや指導の充実と

る中で、 ることができ、

るなど、

今後更に全教職員

伝達講習の在り方を工夫す た。参加者からの各校での の実践に生かすことができ ての研修を行い、各学校で 分かれてケース会議につい 小中学校ごとのグループに

県南教育事務所や西郷支

だきながら、西郷地区特別援学校の支援・指導をいた 支援連携協議会を2回開催

境設定に努めたり、保育の 保育を提供できるような環 うことができた。より良い とりに寄り添った指導を行 出来るような環境を設定す 触れながら様々な体験をす までに育って欲しい姿」を の繰り返しや四季の自然に 意識しながら、日々の生活 いくつもの学びが また一人ひ

協議会の充実と学校交流の ⑤ 西郷地区特別支援連携

ものは、

なかった。

C・Dの評価に該当する

(D評価)

直しを要する施策

る施策 (C評価)

目標達成に改善を要す

中学校を会場に特別支援学 した。 法についての研修を行っ 級の授業参観を行い、 た。2回目は、

できるようになったが、 振り返りや関わり方を意識 材の充実 行っていきたい。 い在り方についての検討を 後更なる環境設定のより良 幼稚園において「幼児期 今

うな手立てを講じていきた

解を深めることができるよ が特別支援教育に対する理

るよう、 支え、 が最初となる。学習支援に実施できたのは平成30年度 を配置し、 双方向の関係性を築け 学校が地域に貢献す 地域の人々が学校を コーディネー 地域と学校の橋 ター

目標を達成できた施策

名、大学7名、

大学院1名

り出した卒業生は、

短 大 1

なった。単位満了により送

容の充実と人材育成 をはじめとした各種講座内 ①「西郷単位制総合大学」 新

> 地研修となったが、学びの 者でもある植村美洋先生に 辰15年」関連の講師であり、 長講話」を皮切りに、 迎え、さらに聴講生9名を 学院2名の計12名を新たに あり、実り多い研修の場と 集大成として大変有意義で 直接ガイドいただいての現 開することができた。さら チした深みのある講座を展 を記念する講座を組み入れ の講座、そして、 田克彦先生の4回シリーズ 座」で人気を博していた藤 加えて総勢43名でスター では、平成30年度の入学生 に「卒業旅行」では、「戊 たことにより、 29年度まで「きらり学び講 に短大3名、 しかも「白河大戦争」の著 した。必修講座では、 「西郷単位制総合大学」 大学7名、 時代にマッ 戊辰 150 年 村村

や事務事業の点検及び評価 生涯学習課に属する重点施策

 \bigcirc 増進

スポ

ツクラブとの

4 スポー

ツの振興と健康

に加盟している。

健康パド

①生涯学習事業の推進 公民館

1

「健康ウォー

携と活動支援

【重点施策・生涯学習課

- ⑦青少年体験活動事業の 充実
- 1 中学生海外派遣事業の 実施 (新)

 $(\dot{\mathcal{D}})$

対民プー

でいる。

文化財については、平成

渡しをする事業に取り組ん

公民館事業の推進

生涯学習課では、

こども運動広場の活用

⑦ 「西郷単位制総合大学」 をはじめとした各種講 成 (新) 座内容の充実と人材育

動広場ときびたきの森ト

 \bigcirc ぴんぴんキラリ事業等 くりの推進(新) 康づくり、 による仲間づくり、 生きがいづ 健

自然の家の第二スキー

大会を実施しているが、 た西の郷クロスカントリー

- \bigcirc 3 読書活動推進のための 図書室活動の充実
- \bigcirc 軍馬補充部関連遺構と 文化財の保存・活用 伝統文化の調査
- 1 戊辰150年事業の実施正な保護 樹木などの文化財の適

「健康パド

「健康麻雀教室」、

- \bigcirc
- 開し、健康麻雀教室はいち ぴんぴんキラリ3事業を展 早く自主サー 平成30年度に文化協会 クル化を果た

ゲレンデもコースに含める 公民館事業では「人生楽園 を行い、他のレースとの差 といったコースの特徴付け 成30年度は那須甲子青少年 年度より甲子高原こども運 レーニングコースを活用し 体育協会・総合型地域 ジオ体操」の実践及び ル体操教室」の ル・甲子高原 キング」「ラ 平 成 29 ·場 の 平 連 たい。 いる。 てきた講演形式の催しを参 に参加者が集まり、講座修 ラリ』ハッピー西郷ヨガ教 ていくようになってきてい 考慮しながら実施していき 参加者も多く、好評であっ 目の取り組みとなったが、 クフェス」に変更し、2回 加・体験型の「にしごうブッ 読書フォ 成29年度から、これまでの たため、公民館がサポー いきたいという要望があっ 了後も参加者独自で続けて 業であり、 盛りの年代向けに行った事 室」を開催し、これは働き 事業として、「『ぴんぴんキ る。また、平成30年度新規 加者が主体となって活動し 自主サークル化し、 ル体操教室も平成30年度に た。今後も開催の時間等を し、自主サー 図書室活動では、平 ーラムとして行っ 募集開始後すぐ クル化されて 講座参

多かったため、パネル展示れたことを知らない村民も

文

でも戊辰戦争の戦闘が行わ

いう節目の年であり、村内30年が戊辰戦争から15年と

んだため、 平成29年度途中から取り組 地域学校協働本部事業は 一年間を通して

11 R1. 11. 1

の9名で卒業式を前にした

の講座や研修を踏まえて自

「発表会」では、

これまで

幼稚園·

各

指導

1回目は、西郷第二

ものは、

なかった。

C・Dの評価に該当する

度は、 文化財にもなっている白河 部の遺構については、指定 を与えた軍馬補充部白河支 伝統文化の調査 ② 軍馬補充部関連遺構と を加えて「四町村交流事業」 町の参加がなかった。 地域の行事の関係で、 向上を誓い合う場として大 意識を高めると共に資質の がら頑張っていこうという 接する町村で切磋琢磨しな を持つことは、 通して交流を深めつながり 生が情報交換や自然体験を る事業として継続してい 生かした体験活動を実施す は「三町村交流事業」に名 として進める予定である。 ているが、 引率者という構成で実施し の生徒、 してきた。平成28年度から いに役立っている。 本村の歴史に大きな影響 3町村を代表する中学 3町村に会津美里町 各15名、 各町村の特色を 平成30年度は、 お互いに隣 計45名と 次年 下郷

る施策 (C評価)

しを要する施策

各町村

集を行った。

風習といった民俗事例の収 村の年中行事やしきたり、 方に聞き取り調査を行い

者の生きがいづくり、仲間 ② ぴんぴんキラリ事業等 え方などを面白くそして楽 「論語」など難解な漢字の 字の講話や「人生百年時代 常の新聞から取り出した漢 ズで講話をいただいた。日 や新聞等でも紹介されてい による仲間づくり、 に役立つ『名言名句百選』」・ ルと銘打って全10回シリー しく講話いただいた。 超高齢社会に向け、 漢字教育士の八重樫一 生きがいづくりの推 健康づくりを目的 面白漢字ゼミナー 人生訓や考 健康づ 員をオー であった。のベ24名の参加 できた。平成30年度も健康 者を得て大好評の内に終了

解説を通して、

指導いただいたので理解す 「ゆっくり、 反省を踏まえ全20回コース 立ち上がっていることも好 では「西郷健雀サロン」が 者の受け入れ先ということ 感想が得られた。受講修了 るのに丁度良かった」等の で実施した。受講者からは、 雀教室」は、 に役立っている。「健康麻 参加者の安全・安心に大い よる「健康講話」を行い、 推進課とのタイアップによ バスの中での保健師に 時間をかけて 平成29年度の

> 導法により、 がっている。 「自主サークル」が立ち上 格を取得した方を中心に、 年度インストラクターの資 動を展開している。平成29 まれながら明るく楽しく活 た。講師の巧みな話術と指50名を超える参加者があっ く気軽にできる体操として 康パドル体操教室」は楽し りという点で、大きく寄与 た。高齢者の生きがいづく30名中24名が入会を希望し 人気があり、 している一事業である。「健 平成30年度も 常に笑いに包

先生に、

ą

度は、

郡山市在住でテレビ

募集開始初日の午後には定 参加者の口コミ等もあり、 を企画したが、平成29年度 全く違った新コース6回分

ーする盛況ぶり

学び講座」では、平成30年 る発表となった。「きらり れも見応え、聴き応えのあ

こども運動広場の活用 ③ 村民プール・甲子高原

る。活用施策として、村民動広場が43人となってい民プールが44人、こども運民プールが45人、こども運平成30年度の利用人数は村平成30年度の利用人数は村 月 15 日、 泳力検定を実施し利用客のび子ども向けの水泳教室や の事業者と連携し、成人及 にそれぞれオープンした。 動広場は平成27年8月9日 村民プー ルはNPO法人や民間 甲子高原こども運 ルは平成29年1

運動広場については、平成 推進している。 施設と連携し、 成30年度は第2回大会を開 増加を図っている。こども 29年度より西の郷クロスカ また、 大会を実施し、平 合宿誘致を 近隣の宿泊

発表いただいた。文化琴の己研鑽を積んで来た成果を

3事業「人生楽園の旅」・

「健康麻雀教室」・「健康パ

極拳の実演・「外見からは 演奏・スポーツ吹き矢や太

もニーズに合致し成果を

ル体操教室」は、

どれ

わかりにくい発達障害につ

いて」の研究発表など、

旅」では、平成29年度とは 上げている。「人生楽園の

実施 (新) ④ 中学生海外派遣事業の

を重ね、 を行い、 ため、 県と日中友好都市提携を契 リカ合衆国に派遣先を決定 で最も人気が高かったアメ 遣を実施せず派遣先の検討 平成25~28年度のうち政情 途絶えたため、派遣先をタ 中学生海外派遣事業を実施 か実施できなかった。その に達せず中止となり一度し 不安定の影響から募集人員 イ王国に変更した。しかし の東日本大震災以降交流が してきたが、平成23年3月 平成7年に中国天津市薊 平成29年度は海外派 人材育成事業として 実施委員会で検討 村に関わりがあ ト調査の結果

た施策 (B評価)

をおおむ達成でき

図った。 学習への意欲をより一層高 現地工場見学等の交流を 野を広げられたとともに、 違いを実感したことで、 関心を持ち、 めることができた。

し、また他国の文化に強く

日本文化との

本場の英語を体験

充実 町の三町村の中学生の生徒 して那須町、 西郷村、

「三本槍の故事の再現」 平成26年度より3年間、 青少年体験活動事業の 下郷

会役員等を中心に登山をメ

インとした交流活動を実施

ている牧場を区画する土塁

あり、

他の地区より優先し

塁に関しては開発の計画が がある。台上地区にある土

文化財保護委員長であった

いる。伝統文化については、

活用のための協議を行って

て調査を行い、

記録保存や

西郷村 教育大綱

先人から受け継いだ美しい自然や伝統文化の中で、すべての村民が 生きがいを持って、いきいきと輝き、笑顔で暮らせる村を子どもた ちへ、未来へ繋げていくため、次に掲げる人づくりに努めます。

西郷村の将来像

~ 人と自然が輝き 笑顔を未来へつなぐ~ 「さわやか高原公園都市」にしごう

理

『自立』と『共生』

目

自らを高め、共によりよく生きる人づくり

① 自他の命を大切にする人

- ④ スポーツ、芸術、文化にすすんで親しむ人
- ② 夢に向かって学び、生き抜く力を高める人 ⑤ 感謝の心、思いやりの心を大事にする人
 - ⑥ 生きがいを持ち、社会に貢献できる人
- ③ 郷土の自然や文化に誇りを持ち、郷土を 愛する人
- ⑦ お互いの個性を認め合い、支え合える人

生徒19名、 参加した生徒たちは、 標を定め、 事前に班編制し、 を実施した。生徒たちは、 名が、5泊7日の日程でア ムステイ、村内立地企業の において、 メリカ合衆国シアトル市、 し海外派遣事業に臨んだ 引率6名の計25 3泊4日のホ 事前学習を実施 -市などで研修 各班で目 現地 広報にしごう No.587 12

13 R1. 11. 1



運動会

11月号では9月21日の村立西郷幼稚園、28日の川谷保育園、10月5日の学校法人西郷幼稚園の運動会の様子をお伝えします。





市町村対抗軟式野球

市町村対抗軟式福島県軟式野球大会は、9月22日に2回戦、29日に3回戦が行われました。2回戦では中島村に5-3、3回戦では矢吹町に5-2で勝利をおさめ、見事ベスト8に進出しました。次の対戦相手は白河市です。(写真は2回戦の試合の様子)



15 R1. 11. 1 広報にしごう No.587 14

48 チームが集結 ~結成 30 周年 米スポーツ少年団記念大会 ~



▲ 打席に立つ米スポーツ少年団の選手

9月21日、米スポーツ少年団の結成 30 周年を祝して、西郷村多目的運動広 場など村内4会場で記念大会が開催され ました。米スポーツ少年団と交流のあっ た県内のソフトボールチームが招かれ、 全48チームが3ブロックに分かれトー ナメントで戦いを繰り広げました。

各ブロックの優勝チームは、三神ソフ トボールスポーツ少年団(間の原ブロッ ク)、善郷スポーツ少年団(たておかブ ロック)、田島スポーツ少年団男子ソフ トボール部(折口原ブロック)でした。

各大会での健闘を願って~激励金交付式~

9月26日、「第74回国民体育大会」、「第19回全 国障がい者スポーツ大会」出場者への激励金交付式が 村長室にて行われました。出場者は以下の通りです。

・ゴルフ

高久 みなみ

・ソフトボール

(グランディ白河那須ゴルフクラブ)

鈴木 匠 (郡山北工業高校)

尾嶋 駿(白河高校)

- 第 74 回国民体育大会
- ・ソフトテニス
- 大槻 三喜(住友ゴム工業(株)) 大槻 麗(住友ゴム工業㈱)
- 小山 舞(早稲田大学) 鈴木 梨沙 (明治大学)
- 鈴木 竜弥 (明治大学)
- 陸上競技
- 秋山 優希 (日大東北高校) 齋藤 優汰 (白河旭高校)
- ○第19回全国障がい者スポーツ大会 フライングディスク 真船 健(西郷支援学校)



▲ 激励金交付式に出席した皆さん

いつまでも元気に笑顔で〜敬老会〜





▲ 敬老祝金贈呈(左)、談笑する出席者の皆さん(右)

今年度の敬老会が9月30日、10月 1日の2日間にわたり、東京第一ホテ ル新白河で開催されました。

1日目は北部地区619名、2日目は 南部地区 556 名の 80 歳以上の村民の 皆さんが招待され、各地区の代表の方 に敬老祝金や記念品が贈呈されました。

また、村立西郷幼稚園、みずほ保育 園などによるアトラクションや、会食 が行われました。出席者の皆さん同士 でお話ししながら、食事を楽しむ姿が 見られました。

西郷村に居住・就業する学生・卒業生の皆さんへ 奨学金の返還を支援します

- 西郷村若者定住・雇用促進事業(奨学金返還支援事業)-

西郷村では若者の定着を図るため、村内に定住し、村内事業所への就職者等(農業者・自営 業者等も含む)を対象として、奨学金返還の支援を行います。

対象者

高校、大学等を卒業後、村内に定住し、かつ、村内の事業所等に正規職員等 として継続して定住及び就業する(予定を含む)者で、年度末時点において 満30歳未満の者

返還支援額 補助金交付申請年度内に返還した奨学金の額で、次の表の区分に応じて定め る額とその年度内に返還した奨学金のいずれか少ない額が返還支援額(補助 金の額)となります。

対象となる奨学金の名称	区分	補助金の額(単年度)
日本学生支援機構奨学金	大学・大学院	180,000 円
福島県奨学資金	高等学校・専修学校(高等課程)	63,000 円
個局宗奖子貝並	大学・短大・高等専門学校	96,000 円
福島県奨学資金(入学一時金)	大学・短大・高等専門学校	100,000 円
西郷村奨学資金	高等学校・高等専門学校	60,000 円
四柳杓突子貝並	大学院・大学・短大・専修学校	100,000 円

[※] 複数の奨学金の貸与を受けている場合の返還支援額は、奨学金の名称及び区分ごとに 算出した補助金の額を合計した額とします。

支援期間

村内に定住し、かつ、村内の事業所等に正規職員等として就業後、最大5年 間、年度ごとに返還実績額に準じて補助します。

申請期間 令和元年 10 月 21 日(月) ~ 令和元年 11 月 29 日(金) 必着

申請方法

所定の認定申請書、同意書に必要事項を記入の上、必要書類を添付し、以下 の申請先に郵送により提出してください。

※ 提出書類の様式は、村ホームページよりダウンロードできます。

申請先:西郷村産業振興課

〒 961-8501 福島県西白河郡西郷村大字熊倉字折口原 40

問い合わせ 西郷村産業振興課

電話: 25-1116 メール: sangyou@vill.nishigo.lg.jp

※ その他、詳しくは村ホームページに掲載されている「補助金交付要綱」「手続きの流れ」 「Q&A」をご覧ください。

企業の皆様へ(お願い)

本村では、若者定住・雇用促進の支援(奨学金返還支援事業)を行います。 本事業を応援して頂ける企業様を募集しております。本事業の趣旨にご賛 同し、ご協力頂ける企業様は、何卒、寄附のご検討をお願い申し上げます。 詳しくは西郷村産業振興課までお問い合わせください。



17 R1, 11, 1 広報にしごう No.587 16

里親入門講座

家庭の事情で親と暮らすことができ ないお子さんを登録家庭に迎え入 れ、愛情をもって養育していく里親 制度の入門講座と個別相談会を開催 します。

〈入門講座〉

▶日時

11月18日(月)10:00~11:30

- ▶ 場所 郡山市中央公民館
- ▶ 定員 30名
- ▶ 申込〆切

11月14日(水) (メール申込可)

〈個別相談会〉

- ▶ 日時 12月13日金
- ▶ 場所 福島県県中児童相談所
- ▶ 定員 5組
- ▶ 内容

養育里親、養子縁組里親につい ての相談、申請の説明等の個別 相談。

- ▶申込〆切 12月9日(月) (メール申込可)
- 間 福島県中児童相談所
- **1** 024-935-0611
- kentvuu.iisou@pref.fukushima. lg.jp

歩道除雪隊募集

児童・生徒が安心して登下校でき るよう積雪時の歩行空間を確保す る「歩道除雪隊」を募集します。 除雪機の貸与と作業に応じて奨励 金をお支払いいたします。希望す る団体は、11月22日金までに、 下記までお申し込みください。

間 建設課 🚾 25-1117



令和2年度 白河准看護学院生徒募集

▶ 受験資格

高校卒業 (見込みを含む)、また は同等の学力を有する者(中学 校卒業でも履修が可能と認めら れる方を含む) ※年齢・性別不問 ただし、社会人枠入試は、20歳 以上で2年以上の就労経験があ り専願の者

- ▶ 定員 30名
- ▶ 一般入試
- 試験科目 国語、数学、作文、面接
- 試験期日

1期:令和2年2月6日休 2期:令和2年2月20日(木)

- ▶ 社会人枠入試
 - 試験科目 作文、面接
- 試験期日 12月19日(木) ※受付期間等はお問い合わせください。
- 間白河医師会白河准看護学院
- **78** 23-3701

日本語ボランティア研修会

外国人に対する日本語の教え方につ いて学んでみませんか?

▶日時

12月7日(土) 9:40~15:30

▶ 場所

マイタウン白河(白河市本町2)

▶ 対象者

日本語ボランティア及びそれら に関心のある方 20名

- ▶ 参加費 無料
- 間(公財)福島県国際交流協会
- **3** 024-524-1315

白衛官墓集

〈自衛官候補生〉

- ▶ 受付期間 年間を通じて行っています
- ▶試験期日

令和元年 11 月 16 日生

▶試験会場

陸上自衛隊郡山駐屯地

- ▶ 採用時期
- 令和2年3月下旬又は4月上旬
- ▶ 応募資格

18 歳以 ト 33 歳未満の男女

〈陸上自衛隊 高等工科学校生〉

▶ 受付期間

(推薦) 11月1日~11月29日 (一般) 11月1日~ 令和2年1月6日

▶1次試験日

(推薦) 令和2年1月5日・6日 までの指定する1日

(一般) 令和2年1月18日

▶ 応募資格

(推薦) 男子で中卒(見込含) 17歳未満の者

(一般) 男子で中卒(見込含) 17 歳未満の者

▶ 募集人員

(推薦)約60名程度

(一般)約260名程度

▶ 試験会場

(推薦) 陸上自衛隊高等工科学校 (神奈川県)

(一般) 自衛隊地域事務所(予定)

- 間 自衛隊福島地方協力本部 白河地域事務所
- **24-0372**

こころんチャリティーアート展

▶日時

11月23日生 10:00~16:00 11月24日(日)10:00~15:00

▶ 場所

生活支援センターこころん (泉崎村大字泉崎字下根岸 9)

▶ 内容

展覧会、即売会、お茶会、カラ ーセラピー (萩原佳代子先生)、 喫茶・体験コーナーなど

- 間生活支援センターこころん
- **54-1115**

年金受給説明会

▶日時

11月30日生9:00~12:00

▶ 場所

白河商工会議所

▶ 内容

年金請求の手続きや制度の説明

▶ 対象者

昭和35年4月1日以前の生まれの方

▶申込方法 郵送か FAX

(氏名・住所・電話番号・生年月日)

- 間 福島県年金受給者協会連合会
- **2024-528-9121** (電話・FAX)

人権こまりごと相談

▶日時

11月16日生10:00~15:00

▶ 場所

イオン白河西郷店 2階特設会場

▶ 主な相談内容

家庭内の問題(結婚・夫婦・親 子・離婚・相続・遺言)、金銭貸 借、お年寄り・子供の虐待、い じめ問題、不登校、プライバシ 一侵害、セクハラなど。

▶ 相談員

人権擁護委員、法務局職員、司 法書士、弁護士(午前中のみ)

- 問白河人権擁護委員協議会
- **22-1201**

社会保険労務士による 年金労働問題無料相談会

▶日時

12月8日(日) 10:00~16:00

▶ 場所

白河市立図書館

▶ 主な相談内容

年金相談、健康·雇用·労災保険、 成年後見制度、就業規則、賃金、 残業不払、解雇等の悩み。

- 問福島県社会保険労務士会白河支部
- ☎ 090-5356-0110 (事務局 蛭田)

ニシゴーヌの 情報案内板

白河司法書士相談

〈須賀川会場〉

▶開催日時

11月21日休 13:00~16:00

▶ 開催場所

Tette (てって) (須賀川市中町 4-1)

〈白河会場〉 ▶開催日時

12月5日(木) 17:00~20:00

▶ 開催場所

マイタウン白河(白河市本町2)

▶ 相談内容

不動産・会社登記や相続・遺言、 多重債務、少額の裁判など。

- ▶ 予約時間 (要予約・平日のみ) $10:00\sim12:30,\ 13:30\sim16:00$
- 間 白河司法書士総合相談センター
- **75** 0120-81-5539

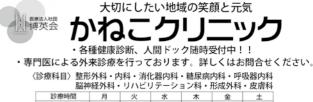
ひとつずつ いいね!で確認 火の用心

- 11月9日出から11月15日 金までの7日間は「秋季全国火災予防運動」週間です。
- 3つの習慣、4つの対策を心がけて、火災予防に努めましょう。
- 〈3つの習慣〉
- ①寝たばこは、絶対やめる
- ② ストーブは燃えやすいものから離れた位置で 使用する
- ③ ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず 火を消す
- ①逃げ遅れを防止するために、住宅用火災警報器を設置する ②寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する
- ③ 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する
- ④ お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

問白河消防署西郷分署 ☎ 25-2534 問総務課消防防災係 ☎ 25-1112



KANAHA ati . 71 y h x x 75 · FIGHTDO · UBOUND ・ピラティス・ズンバ・エアロビクス etc. TEL(0248)24-7711



9:00~12:00 14:30~17:00 9:00~14:45 休診日/日曜・祝日・木曜日午後

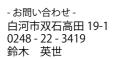
かねこクリニック 検索 M TEL 0248-24-3111

広報にしごう No.587

けやき 在宅リハビリマッサージ

- ●ご自宅・施設への 訪問マッサージです。
- ●マッサージ師は、全員国家資格 保持者で、安心なマッサージが 可能になります。医療保険適用。
- ★後期高齢者医療被保険者証を お持ちの方 ★身体障がい者手帳1級または2級 の交付を受けている方







乳がん集団検診のお知らせ ~早期発見・早期治療のために婦人科検診を受けましょう~

検診日	令和 2 年 1 月 21 日火、24 日金、28 日火
受付時間	① 8:40 ~ 9:00 ② 9:40 ~ 10:00 ③ 13:00 ~ 13:20 (各時間帯で人数に限りがあります。先着順になりますのでご了承ください。)
定員	計 165 名 ※ 1 日あたり 50 歳以上 40 名、40 ~ 49 歳以上 15 名
検診会場	西郷村保健福祉センター
対象者	令和 2 年 3 月 31 日までに 40 歳以上となる女性 ※ただし、平成 30 年 4 月 1 日以降に村の乳がん検診(集団・個別および 人間ドック)を受けた方は除く
検診内容	・問診 ・視触診 ・マンモグラフィ(50 歳以上は一方向、40 ~ 49 歳は二方向撮影)
持参するもの	自己負担金 1,000 円、バスタオル
注意事項	・乳がん検診は完全予約制で実施するため、予約日の変更はできません。・妊娠中及び授乳中の方は、受診できません。・個別検診は大変混み合いますので、集団検診での受診をお勧めします。

○申し込みについて

11月 22日 金 8:30 から受付を開始します。

定員になり次第、締め切ります。 早めにお申し込みください。 西郷村保健福祉センター窓口またはお電話でお申込みください。

電話番号:25-1115 予約受付時間:8:30~17:15 (土日祝日除く)

問 健康推進課(保健係) ☎ 25-1115



📆 11月の休日当番医



診療時間 9:00 ~ 17:00



● 村内の休日診療所

いわしなクリニック 🕿 48-1234

【診療日】3日・10日・17日・24日 【診療時間】8:30~12:30

月日	診療科目	医療機関名	所在地	13 (0248)	
٦	小児科	白河厚生総合病院	白河市	22-2211	
3日(日)	内科・外科	らくらく医院	白河市	54-5333	
(Ц)	歯科	よしなり歯科医院	白河市	24-3020	
4 🗆	小児科	すずき内科クリニック	白河市	24-4114	
4日 (月)	内科・外科	吉田医院	白河市	23-4033	
(רז)	歯科	白河歯科クリニック	白河市	22-7133	
10 🗆	小児科	樋口小児クリニック	矢吹町	42-2040	
10日	内科・外科	きたむら整形外科	矢吹町	42-5533	
(山)	歯科	和田歯科医院	矢吹町	44-4180	

月日	診療科目	医療機関名	所在地	23 (0248)	
17 🗆	小児科	みうら小児クリニック	白河市	28-1001	
17日(日)	内科・外科	千葉医院	白河市	24-2080	
(山)	歯科	内藤歯科クリニック	白河市	22-7252	
22 🗆	小児科	わたなべ子どもクリニック	白河市	21-2166	
23 日 (±)	内科・外科	よこむら整形外科クリニック	白河市	21-1455	
(1)	歯科	国井歯科医院	白河市	46-2558	
24 🗆	小児科	ねもとキッズクリニック	白河市	21-5623	
24 日	内科・外科	小針医院	矢吹町	42-2366	
(山)	歯科	吉田歯科クリニック	中島村	51-1661	

【平日】健康推進課 ☎ 25-1115 【休日】西郷村役場 ☎ 25-1111

10/31(未)

今月の納税・納付

前日までに口座入金、

納付をお願いします。

税(3期) 保険税(4期) 護 保 険 料(4期) 後期高齢者医療保険料(3期)

転ばぬ先の「手すり」

【元気で長生き】食事、運動、早めの手すり



合同会社 ピーアールジェイ フリーコール 0120-924-014 本社 岩瀬郡鏡石町岡/内111 白河事業所 西白河郡西鄉村 大字小田倉字後原1

「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が発行されます

~年末調整・確定申告まで大切に保管ください~

国民年金保険料は、所得税及び住民税の申告において全額が社会保険料控除の対象となります。その年 の1月1日から12月31日までに納付した保険料が対象となります。

平成31年1月1日から令和元年9月30日までの間に国民年金保険料を納付された方へ、社会保険料 控除を受ける際に添付が必要となる「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」を11月上旬にお届け します。なお、ご家族の国民年金保険料を納付された場合も、ご本人の社会保険料控除に加えることがで きます。再交付をご希望の際は、「ねんきん加入者ダイヤル」か「ねんきんネット」をご利用ください。

間 日本年金機構 ねんきん加入者ダイヤル 🚾 0570-003-004

令和2年度川谷小・中学校の特認校制度について

令和2年度も川谷小・中学校を特認校に指定し、特認校制度を実施します。これにより、村内どこからで も川谷小・中学校への入学が可能となります。この制度は複式学級解消を目的とし、川谷小・中学校の教 育活動・特色に共感を持つ児童・生徒及びその保護者の申請により、入学上の条件をもとに西郷村教育委 員会が年度ごとに就学を認める制度です。希望される方は、教育委員会学校教育課へ申請をしてください。

● 入学上の条件

- (1) 自宅から学校までの通学に関しては、保護者の責任において安全を確保し、通学をされるようお願 いします。ただし、申請により教育委員会が必要と認める場合には、小田倉小学校スクールバス路 線(小田倉小学校と川谷小学校間の現行ルートのみ)の乗降場所から川谷小学校乗降場所まで、スクー ルバスを利用することが可能です。
- (2) 入学後は、PTA 活動等、川谷小・中学校の学校活動に参加をお願いします。
- (3)特認転入学の期間は、一定の学期や短期間の転入学は認めません。
- (4)川谷小・中学校の学年は、1学級です。募集の定員は、その範囲内とします。
- (5)特認転入学の趣旨、目的に沿わない場合は、入学を取り消すことがあります。

間 学校教育課 ☎ 25-2370

- 児童虐待は社会全体で解決すべき問題です -

あなたの連絡・相談が子どもを守るとともに、 子育てに悩む保護者を支援するための大きな一歩となります。 虐待かもと思ったらすぐお電話ください。

いちはやく

189 番へお電話ください

〈児童虐待とは…〉

身体的虐待	殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、家の外にしめだす など
性的虐待	子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など
ネグレクト	家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない、他の人が子どもに暴力を振るうことなどを放置する など
心理的虐待	言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子供の目の前で家族に対して暴力をふるう(DV)など

虐待を受けたと思われる子どもがいたら。ご自身が出産や子育てに悩んだら。子育てに悩む親がいたら。 児童相談所や市町村の相談窓口にご連絡ください。

直売・加工の仲間ネット県南主催 秋の大感謝祭のお知らせ

風評被害払拭のため農産物や加工品の販売イ

ベントを開催します。

日時:11月10日(1)9:00~15:00

場所:まるごと西郷館

内容:県南産農産物や加工品の販売、

ポン菓子のプレゼント、大抽選会など

問 県南農林事務所 ☎ 23-1568

消費税率の引上げに伴う上下水道料金変更のお知らせ

問福祉課 ☎25-0001 問児童相談所白河相談室 ☎22-5648

令和元年10月1日より消費税率の引き上げに伴い、上下水道 料金の税率も8%から10%へ引き上げられました。ただし、令 和元年9月以前より継続して使用している方に限り、経過措置 のため、令和元年11月請求分上下水道料金の消費税率は8% となります(10月から新規使用の方は10%)。なお、令和2年 1月請求分上下水道料金からは、消費税率は10%となります。

間上下水道課 🚾 25-2962

五感を使って自然を感じよう - 阿武隈川源流探検-



9月28日、阿武隈川源流探検が行われ、村内外の37名の 小学生が参加しました。キョロロン村をスタート地点に子ど もたちが新甲子遊歩道を散策し、遊歩道で採取した源流の水 と、下流の水の水質を比べました。

この事業は、源流の水質調査をきっかけに環境美化の大切 さを認識してもらう目的で、阿武隈川サミット実行委員会が 毎年開催しています。

散策では、ツーリズムガイドにしごうの皆さんがガイドを 務め、遊歩道を歩きながら、そこで見つけた様々な植物を子 どもたちに説明しました。散策後の水質調査では、COD(化 学的酸素要求量)検査キットを使って、源流の水と下流の水 の汚れの度合いを調べました。

子どもたちは遊歩道を囲む木々を見たり、源流の冷たくて きれいな水を手で触れたりして、自然を感じていました。











図書室だより

☆ 11 月の読み聞かせ会

11月26日(火) 10:30~

☆11月の休館日 5 日(火)、11 日(月)、

18 日(月)、25 日(月)

☆ 11 月のイベント

1 日(金) 文化祭 ワークショップ 30 日(土) NISHIGO BOOK FES



おすすめ図書

コーヒーが冷めないうちに 名作ミステリーきっかけ大図鑑 川口俊和:著

不思議なうわさのある喫茶店を ヒーロー&ヒロインと謎を追う! 訪れた4人の女性たちが紡ぐ、 探偵になりきって事件を解決しよ 家族と、愛と、後悔の物語。 う!



北村薫、有栖川有栖:著



は一いば一い きしらまゆて: 監修

る! 2つのパーティーにさんかしてみんなで盛り上げよう!

原中第3墓地使用者募集のお知らせ

村では、原中第3墓地の永代使用者を募集しています。

位置

西鄉村大字小田倉字古米坂 4-9 面積 4,219㎡

1 区画 3.24㎡ (1.8㎡× 1.8㎡) ※申込みは1人1区画のみ

使用料および管理費

区分	村内に住所を	村外に住所を		
	有する方	有する方		
使用料	250,000円	300,000 円		
管理費	1,000円/年※			

※ 管理費は8年分8,000円前納となります。 (今年度申し込みの場合)



申込資格

戸籍の筆頭者又は世帯主 村外に住所を有する方は、村内に住所を 有する代理人を立てる必要があります。

- ① 墳墓使用許可申請書
- ② 戸籍謄本
- ③ 住民票謄本

村外に住所を有する方は上記の①~③に 加えて以下の書類も必要になります。

- ④ 代理人の戸籍謄本
- ⑤ 代理人の住民票謄本

さらに、①に代理人の連署・押印が必要 となります。

支払方法

指定の振込用紙により銀行振込

受付時間

8:30~17:15(十日祝祭日を除く) 来庁される際は、事前に下記係までご連絡 をお願いします。

間住民生活課(生活安全係) 🚾 25-1449

水道水の放射性物質検査結果:福島県食品衛生課発表

※水道水中の放射性物質に係る基準値(10Bg/kg 未満)

採水日	判明日	放射性物質	検査結果
9月24日	9月27日	放射性ヨウ素 131	经 山阳田荷士港
10月7日	10月11日	放射性セシウム 134・137	検出限界値未満

今月の

間 上下水道課 🚾 25-2912

穂の さの 雅さ 風黄 花木も 紅 0

西郷文芸クラブ 名仙龙 集の 無萄 借の 口壳 り手 く外 入の な てを 机 前

23 R1. 11. 1

11月の ※行事日程が変更になる場合もあります。 ご了承ください。

行事カレンダー

今月の顔…4~5ヵ月児健康診査の子どもたち(10/2)

人口と世帯数(10月1日現在)

人口 20,287 人(前月比 +9)

・男 10,261 人(+1)

•女 10,026 人(+8)

・世帯数 8,313 戸(+2)

※住民基本台帳に基づく

B	月	火	水	木	金	土
					1 第37回西郷村文化祭 作品展示会(〜3日) (9:00文化センター)	2 展覧会 (2日·5日·6日 9:00~16:30) (学校法人西郷幼稚園)
3 文化の日 第 61 回西郷村内 一周駅伝競走大会 (8:00 村内一円) 文化功労賞表彰授与式 (10:00 役場議場)	4振替休日	5	6 避難訓練 (9:45 みずほ保育園) 祖父母との交流会 (川谷保育園)	EDWIN	8 発表会 (9:00 まきば保育園)	9 にしごう祭り (9:00 まるごと西郷館) 発表会 (9:00 村立西郷幼稚園)
10 西郷村消防団 秋季火災防ぎょ訓練 (9:00第5分団区域) 秋の大感謝祭 (9:00まるごと西郷館)	日1 母子健康手帳の交付 (福祉課子育て支援センター) 心配ごと相談会 (13:00 高齢者生活支援センター)	12 12~13ヵ月児健康相談 (9:00 保健福祉センター) 英語で遊ぼう ABC (10:00 村立西郷幼稚園) 英語で遊ぼう (10:00 まきば保育園) (10:00 まきば保育園) (9:00 くまって保育園) 11月誕生児お花・お茶 (学校法人西郷幼稚園)	13 キッズビート体操 (10:00 みずほ保育園) 誕生会 (学校法人西郷幼稚園)	14 スポーツ教室(4歳児) (10:00 まきば保育園) 七五三お祝い会 (学校法人西郷幼稚園) リンゴ農園見学 (川谷保育園)	15 文化芸術鑑賞 (学校法人西郷幼稚園)	16 子育て講演会 (川谷保育園)
17 第31回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝) (7:40白河市〜福島市)	18 行政相談所 (13:30 文化センター)	19 茶道教室 (10:00 村立西郷幼稚園) 観劇会 (10:00 まきば保育園) 発表会予行練習(~20日) (9:00 みずほ保育園) 餅つき (川谷保育園)	20	21 1歳6ヵ月児健康診査 (12:50保健福祉センター) スポーツ教室(5歳児) (10:00まきば保育園)	22 誕生会 (10:15 みずほ保育園)	23 勤労感謝の日 発表会 (9:00 くまっこ保育園)
24 COURSE RIDGE	25 母子健康手帳の交付 (福祉課子育て支援センター) 無料法律相談会 (高齢者生活支援センター)	(10:00 村立西郷幼稚園) ニュースポーツ教室	27 サッカー教室 (9:30 みずほ保育園) 誕生会 (川谷保育園)	28 幼児・6歳児歯科クリニック (幼児 13:00、6歳児 13:45 保健福祉センター) 誕生会 (10:00 まきば保育園) 避難訓練 (14:30 くまっこ保育園)		30 発表会 (9:00 みずほ保育園)

がんばれ!西郷村チーム-第31回ふくしま駅伝-

11月17日に、第31回市町村対抗福島県縦断駅 伝競走大会(ふくしま駅伝)が開催されます。

昨年は惜しくも村の部準優勝という結果でした。 5年ぶりの優勝を目指し、選手たちは厳しい練習を 重ねてきました。西郷村の代表としてたすきをつな ぐ選手たちを、村民のみなさんで応援しましょう。



7:40 白河市総合運動公園 陸上競技場スタート

